

1 単元 「論語」—大切にしたい言葉をミニ屏風にしよう—
言葉に出して読もう(光村図書5年)

2 単元の目標

- 「論語」の音読を通して、漢文のリズムを実感し楽しもうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 「論語」を読んで、自分の考えに新しいもの見方や感じ方を取り入れてまとめることができる。
(読む能力)
- 「論語」を通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

(1) 教材について

「論語」は、児童が初めて出会う漢文である。漢文の中でも「論語」は、現代の言語文化の中に根付き、日常的な表現となって生活に溶け込んでいるものが多い。漢文の入門期の児童にとって、親しみやすく、言葉のリズムを実感しながら読めるものであり、音読することによって内容の大体を知ることができる。さらに、「論語」を解説した文章が多くありそれを読んで、昔の人のもの見方や感じ方に関心をもたせたり、現代人の昔の人のもの見方や感じ方と比べたりできる。「論語」は、読んで楽しいものであること、自分を豊かにするものであることを実感させることができるものであると考えられる。

(2) 児童について

「古典を学習し、内容の大体を書き、経験と関連付けて表す」ことを調査した。

《実態調査 平成*年*月*日調べ 5年*組 男子*人 女子*人 計*人》

内容と経験を関連付けることができた児童	*人
内容の大体を捉えられた児童	*人

本学級の児童は、これまで「故事成語」や「古文を声に出して読んでみよう」といった〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の学習において、音読したり内容についての大体を捉える学習を行ってきた。しかしながら、「故事成語」の内容から、自分の経験と関連付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができているとはいえない。一方で、古文に関する興味は高く、音読や暗唱したり内容の大体を捉えたりすることには、意欲的に取り組むことができる。

(3) 指導について

本単元では、古典を読み、自分の考えを広げたり深めたりするために、「『論語』—大切にしたい言葉をミニ屏風にしよう—」という言語活動を行う。まず、教師がミニ屏風のモデルを提示し、学習の見通しをもたせる。次に、音読したり、解説した複数の文章を読んで比べたりし、内容の大体を知り、お気に入りの論語を選ぶ。続いて、内容から考えつく言葉をマッピングし、大切にしたい言葉を決める。さらに、「論語」との出会いから得たことを基に書く。このような学習活動を通して、内容について考えをもち、「論語」のもの見方を自分の考えに結び付け、新しいもの見方や感じ方を取り入れることができ、古典を読み、自分の考えを広げたり深めたりできると考えた。

4 単元の指導と評価の計画

次	時	学習活動	評価規準
一	1	学習の見通しをもち、「論語」を音読しよう。	・学習の見通しをもち、楽しく音読している。【関】【言】
二	1	お気に入りの「論語」を選ぼう。	・音読したり解説した複数の文章を比べ読みしたりして、内容について考えをもち、お気に入りの「論語」を選んでいる。【読】
	2	選んだ「論語」の内容から大切にしたい言葉を決めよう。	・選んだ「論語」の内容から考えつく言葉をマッピングし、「論語」のもの見方を自分の考えに結び付けて、大切にしたい言葉を決めている。【読】
	3 本時	「論語」との出会いから得たことを基に、自分へのメッセージをミニ屏風に書こう。	・「論語」との出会いから得たことを基に、自分の考えに新しいもの見方や感じ方を取り入れて自分へのメッセージを書いている。【読】
三	1	友達とミニ屏風を紹介し合いいろいろな「論語」を知ろう。	・ミニ屏風を紹介し合い、「論語」に親しみ、昔の人のもの見方や感じ方を取り入れている。【読】

5 指導計画（5時間扱い）

次	時	学習活動・内容	指導上の留意点（●は評価）
一	1	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>④ 学習の見通しをもち、「論語」を音読しよう。</p> <p>2 ミニ屏風を見て、「論語」や孔子について知る。 ・ミニ屏風を紹介する。 ・「論語」が編纂された背景についての解説を聞く ・孔子の人物像の説明を聞く</p> <p>3 学習計画表をみながら、学習の手順を知る。</p> <p>4 「論語」の範読を聞く。 ・リズム ・間のとり方</p> <p>5 「論語」を音読し、親しむ。 ・範読に続いて ・友達とペアになって、相互に聞き合いながら</p> <p>6 「論語」を暗唱する。</p> <p>7 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>⑤ 学習の見通しをもち、リズムを感じ、「論語」を楽しく音読することができた。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。 お気に入りの「論語」を選ぼう。</p>	<p>・単元の見通しをもつことで、これからの学習活動を明確にする。</p> <p>・担任がミニ屏風に書かれた「論語」の内容の大体や大切にしたい言葉を考えた理由、メッセージについて説明する。 ・「論語」の成立の背景を知らせる。 ・孔子の人物像を紹介する。</p> <p>・教師がミニ屏風に仕上げていく過程を説明する。 (1) 「論語」を音読したり解説した文章を読んだりする。 (2) お気に入りの「論語」を選ぶ。 (3) 選んだ「論語」の内容から大切にしたい言葉を決める。 (4) 「論語」との出会いから得たことを基に自分へのメッセージをミニ屏風に書こう。 (5) ミニ屏風を紹介する。</p> <p>・「子曰く・・・」の書き下し文の読み方を捉えられるようにゆっくり読む。 ・初めて出会う漢文なので読んでいるところを指で追って行くようにする。 ・ペアで学習を進めることにより、楽しい雰囲気づくりをする。</p> <p>・リズムにのって暗唱できるように間をとるタイミングで手拍子を入れる。 ●学習の見通しをもち、楽しく音読しようとしている。 【関】【言】（観察・シート）</p> <p>・本時の学習につなげて、お気に入りの「論語」を選んでいくことを伝える。</p>
二	1	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>④ お気に入りの「論語」を選ぼう。</p> <p>2 「論語」や解説した複数の文章を比べ読みし、「論語」は何を伝えようとしているのかを捉える。 ・音読する</p>	<p>・前時に「論語」の学習をもとに、「論語」となかなよしになって欲しいことを伝える。 ・小学生向けに書かれた解説した複数の本を準備し、紹介することで、内容の大体を捉えて欲しいことを伝える。</p> <p>・齋藤孝編 「子ども版声に出して読みたい日本語」 草思社 平成16年8月 ・三戸岡道夫編 「声に出して生かしたい論語70」 栄光出版 平成18年9月 ・安岡定子著 「子ども論語塾」 明治書院 平成20年2月</p> <p>・解説した複数の文章を比べ読みして内容を理解するように助言する。 ・なかなか学習が進まない児童には、自分が読みやすく、分かりやすい解説した文章を使うよう</p>

<p>・どんな内容かを調べる</p> <p>3 お気に入り「論語」を決め、選んだ理由を書く。</p> <p>(1) 「論語」を視写する</p> <p>(2) 内容の大体を書く。</p> <p>(3) 選んだ「論語」の好きな部分や心に響いたところに赤線を引く。</p> <p>(4) 選んだ理由を書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・お気に入りの部分は～です。理由は、～だからです。</p> <p>・好きな所は、～です。</p> <p>・お気に入りの「論語」の～のところがいいです。</p> <p>・私の考えは～でしたが、「論語」から～の考えがあることを知りました。</p> </div> <p>4 お気に入りの「論語」を紹介する。</p> <p>(1) 同じ「論語」を選んだ友達と「論語」を紹介し合う。</p> <p><伝える視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな部分 ・心に響いたところ ・理由 <p>(2) 違う「論語」を選んだ友達と「論語」を紹介し合う。</p> <p><聞く視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるほどと思ったところ ・新しく知ったこと <p>5 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>㊦ 「論語」の内容について考えをもち、お気に入りの「論語」を選ぶことができた。</p> <p>6 次時の学習を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ミニ屏風の中を書く自分が大切にしたい言葉を決める。</p> </div>	<p>に助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ「論語」への思いを明確にする。 ・なかなか内容の大体を書けない児童には、解説した文章を引用して内容の大体を説明することができるように指示する。 ・好きなところや理由が書けない児童には、ヒントになる言葉を掲示し利用するように伝える。 <p>・友達に伝えることにより、「論語」の大好きな部分や心に響いたところを意識させる。</p> <p>・紹介し合うことで「論語」の内容について自分の考えをもてるようにする。</p> <p>●「論語」を音読したり解説した複数の文章を比べ読みしたりして、内容について考えをもち、お気に入りの「論語」を選んでいる。</p> <p style="text-align: right;">【読】（観察・シート）</p> <p>・次時の学習が楽しくなるように、本時の学習とつながって大切な言葉を見つけていくことを伝える。</p>
<p>2</p> <p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>㊦ 選んだ「論語」の内容から大切にしたい言葉を決めよう。</p> <p>2 お気に入りの「論語」からマッピングする。</p> <p><視点></p> <p>(1) 言葉の意味から考えたこと</p> <p>(2) 「論語」から連想したこと</p> <p>(3) 「論語」を読んで思い出したこと</p> <p>3 マッピングから大切にしたい言葉を決める。</p> <p><視点></p> <p>(1) 自分の思い出といっしょ</p> <p>(2) 新しく知ったこと</p> <p>(3) これから自分が大切にしたいという考えから</p>	<p>・前時の学習とつながっていることを伝え、お気に入りの「論語」から、意味を考えたり、連想したりして、大切にしたい言葉を決めることを話す。</p> <p>・マッピングの視点を明確にすることにより、自分の考えと「論語」の内容がつながっていくようにする。</p> <p>・マッピングで立ち止まったら、「論語」に戻るように指示する。</p> <p>・自分が大切にしたい言葉は、「論語」から離れないように、常に「論語」の内容の解釈に戻るように話す。</p>

	<p>(4) 今までこんなことがあったよ</p> <p>4 大切にしたい言葉が「論語」の内容と関連しているか話合う。</p> <p>(1) 同じ「論語」を選んだ友達と</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの部分が「論語」と関連しているか ・質問・意見 <p>(2) 違う「論語」を選んだ友達と</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの部分が「論語」と関連しているか ・質問・意見 <p>5 大切にしたい言葉を清書する。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>㊟ 選んだ「論語」の内容から、「論語」から大切にしたい言葉を決めることができた。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p> <p>「論語」との出会いから得たことを基に、自分へのメッセージをミニ屏風に書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話聞いて「論語」と大切な言葉が関連しているかを検討し、質問や意見を伝え、発表者が「論語」と大切にしたい言葉を確認できるようにする。 <p>＜話合う時の話形＞</p> <p>私の大切にしたい言葉は～です。「論語」の…から考えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を整えて用具を準備する。 ・ゆっくり清書するように指示する。 <p>●選んだ「論語」の内容から考えつく言葉をマッピングし、「論語」のものの見方や感じ方を自分の考えに結び付けて、大切にしたい言葉を決めている。 【読】（観察・マッピング）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物を見せて、「論語」から自分へのメッセージを書きミニ屏風にすることを伝える。
<p>③ 本時</p>	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>㊟ 「論語」との出会いから得たことを基に、自分へのメッセージをミニ屏風に書こう。</p>	<p>※ P 5, 6 本時の指導参照</p>
<p>三</p>	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>㊟ 友達とミニ屏風を紹介し合い、いろいろな「論語」を知ろう。</p> <p>2 ミニ屏風を紹介し合う。</p> <p>(1) お気に入りの「論語」</p> <p>(2) 大切にしたい言葉</p> <p>(3) メッセージ</p> <p>(4) 「論語」と自分の経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が「論語」から新しく知ったこと ・自分の「論語」に対する思い ・今までに「論語」に書かれているような経験があった <p>(5) 友達のミニ屏風の紹介を聞き、自分が感じた「論語」への考えを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が「論語」から新しく知ったこと ・今までに「論語」に書かれているような体験があった <p>3 ミニ屏風を鑑賞して、「論語」から感じたことをメッセージカードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が「論語」から新しく知ったこと ・今までに「論語」に書かれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ屏風がよくできたことを賞賛し、次時の学習意欲を喚起する。 ・本時の学習のモデルを提示し、学習の流れを理解させる。 ・ミニ屏風に書いた大切にしたい言葉やメッセージ「論語」の内容と自分の経験が関連付けられた点を紹介する。 ・友達のミニ屏風を鑑賞し、多くの「論語」に触れることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達のミニ屏風の紹介を聞き、自分の「論語」に対する考えを発表することで、考えを確かなものにできるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・付箋紙を用意しておき、友達の屏風にメッセージを書く。

<p>ような経験があったこと</p> <p>4 「論語」を学習した後の自分の思いを書く。 <視点> ・「論語」への自分の思い</p> <p>5 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>③ ミニ屏風の紹介を通して、「論語」に親しみ、昔の人のものの見方や感じ方を取り入れることができた。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめとなるように、「私にとって『論語』とは…」の書き出し提示し、書かせることにより、「論語」を学んでの自分の思いを明確にするように指示する。 ・字数の制限（120字以上150字以内）をし、文章にすることで、「論語」に対する自分の思いを的確に書き表すことを伝える。 ●ミニ屏風を紹介し合い、「論語」に親しみ昔の人のものの見方や感じ方を取り入れている。 <p style="text-align: right;">【読】（観察・シート）</p>
---	---

6 本時の指導

(1) 目標

「論語」との出会いから得たことを基に、ミニ屏風を書く自分へのメッセージを考えることができる。

(2) 準備・資料

学習計画表、メモシート、文章シート、清書用紙、彩液（赤・青・黄・緑・オレンジ）、筆、下敷き、ミニ屏風用厚紙

齋藤孝編 「子ども版声に出して読みたい日本語」 草思社 平成16年8月

三戸岡道夫編 「声に出して活かしたい論語70」 栄光出版 平成18年9月

安岡定子著 「親子で読む子ども論語塾」 明治書院 平成20年2月

(3) 展開

学習活動・内容 (☆期待する児童の反応★児童のつまずき)	教師の支援及び留意点 ●評価★児童のつまずきに対する支援
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>③ 「論語」との出会いから得たことを基に、自分へのメッセージをミニ屏風にかこう。</p> <p>2 メモを考える。 <視点> ①「始め」…水色シート 「論語」の中に書かれた昔の人のものの見方や感じ方 ・～はなるほどと思った。 ・新しく～を知った。</p> <p>②「中」…黄色シート 今までの自分 ・～と同じようだった。 ・～から自分を変えたい。 ・今までに～があったよ。</p> <p>③「終わり」…ピンクシート これからの自分 ・～したい。 ・～の自分にしたい。</p> <p>☆ 「論語」との出会いから得たことを、自分の経験と関連付けて新しい考えをもち、メッセージに表している。 ★ 「論語」の中の言葉を抜き出して書いている。 大切にしたい言葉をそのまま書い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の大切にしたい言葉からこれからの自分に生かしたいと思う文を書くことを伝える。 ・本時の学習の手順を示す。 ・何人かの児童に、どんな自分へのメッセージが書きたいか発表をさせる。 ・メモの書き方の見本を示すことで、児童が見通しをもてるようにする。 ・考えが思いつかないときは、マッピングを見て考えると良いことを伝え、児童が自分でメモを書けるようにする。 ・三色のシートを用意することにより、三文で書けるようにする。 ★書きやすいシートから書き込んでよいことを伝える。 ★大切にしたい言葉と自分の新しい考えを結び付けるように言葉を補って、教師と一緒につないでいく。 ★「論語」から得たことを、言葉で発表させ、「どうしたい」、「なぜ」などの言葉を補充して、教師と一緒に文にする。

ている。

3 自分の考えを書く。

(1) メモを基に自分の考えを文章に表す。

<視点>

① 「論語」(水色シート)から

- ・「論語」から知った。
- ・今の自分は、～だ。
- ・これからの私は～だ。

② 「今までの自分」(黄色シート)から

- ・今までの自分は、～だった
- ・「論語」に出会って気付いた。
- ・これからの私

③ 「これから」から

- ・これからの私は、～したい。
- ・今までは、～だった。
- ・～を「論語」から学んだから。

☆ メモをもとに、自分の考えに新しいものの見方や感じ方を取り入れている。

★ メモをそのまま書いている。

(2) 三色のシートを並び替えて文章にする。

4 グループで読み合う。

<視点>

- ・「論語」の内容と自分の経験が入っているか。

5 ミニ屏風に清書する。

6 本時の学習を振り返り、本時のまとめをする。

④ 「論語」との出会いから得たことを基に、ミニ屏風に自分へのメッセージを書くことができた。

7 次時の学習内容を確認する。

友達とミニ屏風を紹介し合い、いろいろな「論語」を知ろう。

- ・「始め」、「中」、「終わり」を、入れ替えてもよいことを伝える。

- ・自分の思いが伝わる順番で並べ替えてよいことを話す。

- ・書き上がった児童のメッセージを紹介してもらい、「論語」の内容と経験を関連付けて、自分の考えに新しいものの見方や感じ方を取り入れている点を賞賛する。

- ★ なかなかメッセージが書けない児童には、対話しながら「論語」の内容を自分の考えに結び付け、新しいものの見方や感じ方になるように支援する。

- ・読み合う時の話形を提示する。

私が考えたメッセージは、～です。「論語」は私の経験の～と関連しています。そこから、自分は、～したいと考えました。質問や感想をお願いします。

〇〇さんに質問します。～は、どうして～のように考えたのですか。

〇〇さんにアドバイスします。…とした方が伝わりやすいです。

- ・「どんなことが分かったか」という点に注意して聞くようにする。

- ・書く環境を整え、用具を準備する。

- ・文章全体を推敲してから清書するように指示する。

- 「論語」との出会いから得たことを基に、自分の考えに新しいものの見方や感じ方を取り入れて自分へのメッセージを書いている。 【読】(観察・シート)

- ・学習計画表に、本時の振り返りを記入することで、本時のめあてが達成できたかを確認させる。

- ・学習がつながっていくことを伝える。

- ・ミニ屏風がよくできたことを賞賛し、次時の学習意欲を喚起する。

「論語」——大切にしたい言葉をミニ屏風にしよう——



学習の見通しをもち、「論語」を音読しよう。

子曰く、「己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ。」と。

孔子は言った。「自分が人からされたくないと思うことを、他人に対してしてはならない。」

子曰く、「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。」と。

孔子は言った。「人はだれでも過ちがあるものだが、過ちを犯してそれを改めないのが、本当の過ちというものだ。」と。

子曰く、「学びて思はざれば、則ち罔し。思ひて学ばざれば、則ち殆し。」と。

孔子は言った。「広く学ぶだけで、自分でよく考えてみることをしないと、学んだことがぼんやりしていて、本当に分かったとはいえない。自分で思いをめぐらすだけで、広く他人の言葉や古人の教えを学ぶことをしないと、考えがせまく、一方にかたよって危険である。」

これらの言葉は、中国の古代思想家である孔子と、その弟子たちの問答を記録した「論語」という書物の中にあります。「論語」は、日本にも古くから伝えられ、人々の生き方や考え方に大きないきようをあたえました。

「論語」——大切にしたい言葉をミニ屏風にしよう——



お気に入りの「論語」を選ぼう。

一、お気に入りの「論語」を選ぼう。(その「論語」を視写しよう。)

二、解説した文章を比べ読みしよう。

A

B

C

三、解説した文章を読んで、好きなところや心に響いたところに赤線を引きましょう。

四、お気に入りの「論語」に選んだわけを書きましよう。その時、赤線を引いた部分（好きな部分や心に響いたところ）も入れましよう。

A large, empty rounded rectangular box with a black border, intended for students to write their answers to the questions above. The box is currently blank.

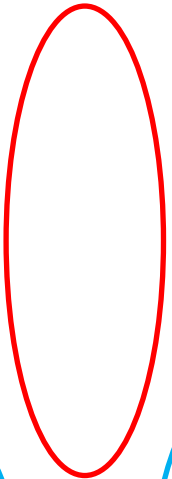
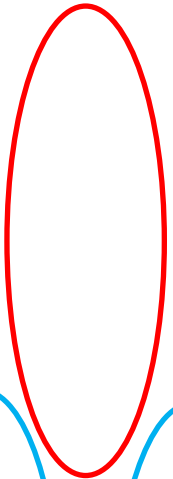
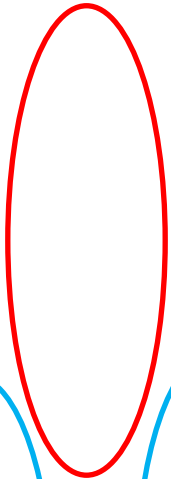
「論語」——大切にしたい言葉をミニ屏風にしよう——



選んだ「論語」の内容から、大切にしたい言葉を決めよう。

好きな部分・心に響いたところ

一、解釈した文章と自分の経験と関連する言葉を集めて、マツピ
ングしよう。



「論語」―大切にしたい言葉をミニ屏風にしよう―



選んだ「論語」の内容から、大切にしたい言葉を決めよう。

好きな部分・心に響いたところ

--	--	--

一、解釈した文章と自分の経験と関連する言葉を集めて、マツピングしよう。

--

--

--

二、「大切にしたい言葉」を選んだ理由を書きましよう。

A large, empty rounded rectangular box with a black border, intended for writing the reasons for selecting a phrase.

「論語」——大切にしたい言葉をミニ屏風にしよう——



「論語」との出会いから得たことを基に、自分へのメッセージをミニ屏風に書こう。

論語

大切にしたい言葉

一、メモを考えよう。

「論語」の中に書かれた昔の人のものの見方や感じ方

今までの自分

これからの自分

二、自分へのメッセージを書こう。

A large, empty rounded rectangular box with a black border, intended for writing a message to oneself. The box is centered on the page and occupies most of the width and height.

